

GE0240003 処方した吸入薬の在庫が調剤薬局になく院内の吸入薬も処方できないルールであったため当該吸入薬を投薬できなかった事例	
訪問調査の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事実の確認</li> <li>・背景・要因の確認</li> <li>・改善策について 等</li> </ul>
主な対応者	看護科長、薬剤部部长

**【報告された実施した医療行為の目的】**

小児科外来を夕方に受診し、17時50分頃に院外処方せんが発行された患者。19時30分ごろに母親より電話連絡が入った。「処方された薬剤のうち吸入薬の在庫が薬局になくて困っている。病院にある吸入薬を処方してもらえないか?」という問い合わせであった。

薬剤部に連絡をとると「処方内容と同等品は院内薬剤にない。また院内での吸入用薬剤は処方できない」との回答であった。小児科外来にも連絡したが同じ回答で、夜間診療担当の看護師から苦しくなった時には再診して欲しいといわれ、患者の母親に上記の経緯を伝えた。

**【報告された事故の内容】**

母親は納得されていない様子であり、処方薬がないと患者も困るであろうと判断し、調剤薬局リストから数店に連絡を入れたが、やはり在庫はない状態であった。そのことを母親に伝え、苦しくなった際にはすぐに受診いただくようお願いした。すると母親より「薬局にない薬を処方するのはおかしい。子供が苦しがっても何もできない」との指摘を受けた。

**【事故の背景要因の概要】**

報告された事故の背景要因の概要	訪問で得られた知見
<ul style="list-style-type: none"> <li>・院外処方薬の在庫がなく処方薬を入手できなかった事例。</li> <li>・診察が長引き、処方時間が時間外となっていて門前薬局がすでに閉まっていた。</li> <li>・院外処方せんを渡す際に、夜間に開いている薬局でも処方薬の在庫がない可能性があることを説明していなかった。</li> <li>・問い合わせがあった際に、担当医師や管理担当看護師に相談していなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事例で処方した吸入薬は、メプチン吸入液ユニット0.3mLであった。</li> <li>・この医療機関は電子カルテシステムを導入しており、外来処方せんと院内処方せんでは処方できる薬剤リストが異なり、院内処方リストにはメプチン吸入液ユニット0.3mLは、採用されていなかった。</li> <li>・院外処方せんで処方できる薬剤は、1,300～1,400品目あり、県薬剤師会に通知している。</li> <li>・当時、小児科医は1人（非常勤）で、この医師が処方したかった小児用薬剤（メプチン吸入液、メジコン等）は、院内処方リストには無かった。</li> <li>・当該医療機関は、同市内の小児の夜間救急を行っており、患者のカルテには処方歴は残っていたが、定期的な受診はしていなかった。</li> <li>・外来診察は本来17時15分までであったが、この日は診察が長引き、この患者の処方せんの発行が17時50分になり、通常よりも35分ほど遅れた。</li> <li>・医療機関に近い薬局（3店舗）ではメプチン吸入液ユニット0.3mLを取り扱っていたが、この3店舗は18:00に閉店していた。</li> </ul>

Ⅲ

- 1 【1】
- 1 【2】
- 1 【3】
- 1 【4】
- 1 【5】
- 1 【6】
- 2 【1】
- 2 【2】
- 2 【3】
- 2 【4】
- 2 【5】
- 2 【6】
- 2 【7】
- 2 【8】
- 2 【9】
- 2 【10】
- 2 【11】
- 2 【12】
- 3 【1】
- 3 【2】
- 3 【3】
- 3 【4】
- 3 【5】
- 3 【6】
- 3 【7】
- 3 【8】
- 3 【9】
- 3 【10】
- 3 【11】

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この医療機関では、薬局薬剤師からの処方せんの疑義照会が入った場合は、直接診療科の医師へ連絡を取る、という対応が決まっていたが、今回は患者家族からの連絡であったことから、電話受信した事務員は、処方せんの疑義照会の対応には結びつけられず、直接診療科の医師へ連絡をしなかった。また、近隣の数件の保険調剤薬局や院内薬局等へ連絡して在庫の確認の対応を試みたが、20時頃であったため電話連絡が取れた保険調剤薬局は1店舗のみであり、その店舗には取扱いが無かった。</li> <li>・院内薬局ではメプチン吸入液ユニット 0.3mL の取扱いは無く、代替薬としてはベネトリン吸入液を採用し、外来処置室での吸入にはベネトリン吸入液を使用していた。</li> <li>・この医療機関には3病棟（50床／1病棟）があり、薬剤師は6人（当直あり）いる。</li> </ul>
--	---

**【改善策】**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・診察時間が長引くなど17時15分を過ぎても診療が続く場合は、門前薬局に診察が続いていることを連絡しておくなど院外処方薬の確保に配慮する。</li> <li>・17時15分過ぎに院外処方せんを渡す場合は、夜間に開いている薬局には処方薬の在庫がない場合もあることを患者に説明し、できるだけ早い時間に処方を受けるよう促す。（門前薬局には基本的に当院の院外処方薬の在庫は置いてある。）</li> <li>・処方薬に関する問い合わせがあった際には、担当医師もしくは管理担当看護師に相談する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外来での診察が遅れている場合は、医療機関から近い薬局に電話連絡することにした。</li> </ul>
---	--

**訪問での主な意見等**

<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者から処方内容の問合せがあれば、薬局からの疑義照会と同様に処方医に連絡し、指示を受けるのが良いのではないかと。場合によっては、緊急避難的な処方変更も考慮できた可能性もある。</li> <li>・この医療機関と他医療機関、県薬剤師会、近隣の薬局等の間で、緊急連絡網や薬剤の在庫が無い場合の連携システムがあると良いのではないかと。</li> <li>・あくまでも緊急避難的ではあるが、患者に他医療機関に行ってもらうことも検討に含めても良いのではないかと。</li> <li>・薬局から「処方された薬剤の在庫がなく、患者の希望日時に調剤できなかつた、薬が使用できなかつた」というヒヤリ・ハット事例を報告してもらい、県薬剤師会も含め、今回のような処方された薬剤の在庫が無い場合や、薬局が閉店した時の連絡方法、他店舗への紹介方法、薬局店舗の開店日時の一覧表、各店舗の在庫医薬品リスト等の公開など、いろいろな面からの対応システムを検討されると有意義であろう。</li> <li>・病院などの医療施設は各地域として24時間の診療体制を取っている。現在、保険調剤薬局も医療施設に含まれており、保険調剤薬局だけが24時間体制の仕組みになっていない場合がある。 また、医師が患者に院外処方せんを発行した場合、その医師には、患者が院外処方せんを薬局に提出したのか、何処の薬局に提出したのか、薬は処方せん通りにすべて調剤されて患者に手渡されたのかなど、処方医へのフィードバック機能が無いのが現状である。このことは大きな問題であろう。</li> </ul>	
--	--

1【1】  
1【2】  
1【3】  
1【4】  
1【5】  
**1【6】**  
2【1】  
2【2】  
2【3】  
2【4】  
2【5】  
2【6】  
2【7】  
2【8】  
2【9】  
2【10】  
2【11】  
2【12】  
3【1】  
3【2】  
3【3】  
3【4】  
3【5】  
3【6】  
3【7】  
3【8】  
3【9】  
3【10】  
3【11】